



令和8年度 糸島市立前原中学校

# 学校だより

令和8年6月1日(月) 文責 教頭 森 瑞樹

## 体育祭を実施しました

5月16日(土) 雲一つない晴天のもと、体育祭を実施いたしました。

生徒は「わ～心を一つに 燃え上がれ!～」のスローガンのもと、生徒会役員やブロック委員を中心に体育祭の成功に向けて、日々練習を重ねてきました。

当日は、生徒会長の「これまで暑い中、真摯に取り組んで、努力してきた皆さんは本当に素晴らしいです。1週間という短い練習の期間だけでもここまで成長できたのは、紛れもなく皆さんの1つ1つの行動や言動のおかげです。今日は練習の成果を発揮し、感謝の気持ちを忘れず、全員が一つの『わ』となって体育祭を盛り上げていきましょう!」という声かけに始まりました。

どのブロックも優勝に向けて全力を尽くすとともに、仲間を応援して競技を盛り上げました。また、自分の役割や係活動に対しても責任をもって取り組みました。競技中は喜ぶ人と悔しがる人が入り交じる様子が見られましたが、閉会式では天気負けに負けず晴れ晴れとした表情で整列する姿がありました。

閉会式やブロック総括会の生徒をみると、全員が体育祭で全力を出し切り、やり遂げた様子でした。特に他のブロックを拍手で賞賛する姿が印象的でした。各ブロックには様々な賞が贈られましたが、「拍手こそ最大の賞である」と感じさせられる素晴らしい体育祭でした。



来賓や保護者の方々には、早朝から生徒たちの頑張りに温かい声援をいただき、誠にありがとうございました。また、PTA役員やボランティアの方々には、駐車場誘導や学校内外の見守り、駐車場でお借りしていた前原南小学校のグラウンド整備をしていただき、本当にありがとうございました。

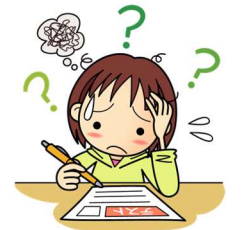
## 前期中間考査がはじまります

先日たまたま、野崎耕二さんの「一日一絵」画文集をみる機会がありました。野崎さんは進行性筋ジストロフィーという難病を抱えながら、その日出会ったことやものから、何か一つを題材に選び、毎日一枚の絵を書き上げています。27年間も続け、枚数にすると9800枚を越えているそうです。それがどのぐらいすごいことなのか、自分には想像もできませんが、何か1つでも胸を張って、「毎日続けられた」とよべるものがあれば、少しは分かるのかも知れません。

学習には「毎日続けること」、「積み重ねの大切さ」が欠かせません。これを知る方法は、2つあると聞きます。「やっつけてよかった。」という分かり方と、「やっておけばよかった。」という分かり方だそうです。

今になって自分自身を振り返ると、後者の「やっておけばよかった」と思うことだけです。テスト勉強に向き合う生徒が、よく「勉強しなさい!と先生や保護者から言われる」と話しますが、その背景には「やっておけばよかった」という思いが理由としてあるのかもしれない。

もう一つの「やっつけてよかった」という経験も引き出してあげたいと考えています。すでに今回の体育祭の中で「やっつけてよかった」という成功体験を得た人もいるでしょう。次は前期中間考査に向けた取組の中で、「やっつけてよかった」とよべる成功体験が得られることを期待しています。



## 6月の行事予定

1日(月) 3年学力診断テスト	18日(木) 糸島区大会 [陸上]
～2日(火) 1年ばるちゅうstep up	20日(土) 糸島区大会 [水泳・サッカー・剣道・軟式野球・バド・ソフト]
4日(木)～5日(金) 前期中間考査	22日(月)～30日(火) 教育相談
10日(水) 歯科検診	27日(土) 糸島区大会 [サッカー・柔道・バレー・軟式野球]
15日(月) 教育実習開始 [2名]	
17日(水) スケッチコンクール	



## 今月のことば

「今日の感情を 感動に」 体育祭閉会式における校長先生の言葉より

「ブロックリーダーのみんなに労いの拍手をお願いします。(略) 後輩のみんなは3年生の情熱を来年に引き継いでください。3年生は、この最後で最高の体育祭に誇りをもって、これからもがんばっていきましょう」

同 生徒会長の言葉より